

HD映像コミュニケーションユニット
KX-VC300/KX-VC600
(ソフトウェア Ver3.25)

リリースノート
Ver1.00

2016年10月19日

パナソニック システムネットワークス株式会社
AVシステムビジネスユニット

目次

1. はじめに	3
1.1.....本書の目的.....	3
1.2.....対象機種.....	3
1.3.....公開対象範囲.....	3
1.4.....記載内容.....	3
2. 更新情報	4
3. 注意事項	14
4. 登録商標及びライセンス	14
4.1.....登録商標.....	14
4.2.....ライセンス.....	14

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本資料は、2016年1月25日付けで、HD映像コミュニケーションユニット KX-VC300/KX-VC600 (以下、HD コム)のソフトウェアバージョン Ver3.25 の機能について記載し発行しましたが、過去バージョンの変更履歴記載がなかった為、変更履歴を追記した上で再発行します。

Ver3.25 に機能に関する記載の変更はございません。

1.2. 対象機種

本書の対象機種を、以下に示します。

表 1 Ver3.25 対象機種一覧

機種名	備考
KX-VC300	
KX-VC600	

KX-VC400/KX-VC500/KX-VC1300J/KX-VC1600J には適用できません。

1.3. 公開対象範囲

本文書は、HD コムを利用するエンドユーザ、システムアップ・設置・保守を担当される販売会社、SIer、および販売店を対象としています。

1.4. 記載内容

本文書では、以降

- ・ Ver3.25 及び過去バージョンの更新情報
- ・ 注意事項

について、記載します。

2. 更新情報

■Ver3.25 リリース内容

KX-VC300/KX-VC600 用として Ver3.21 から Ver3.25 への更新情報を記載します。

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）

項目	機能	説明	VC300/VC600 共通
改善機能	つながるねっとサービス	つながるねっとサービスのメインシステム異常発生時に冗長系（サブ）システムに切り替わった後、一定時間通信ができなくなる場合があることを改善	○

■Ver3.21 リリース内容（Ver3.12 からの変更内容）

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC300	VC600
性能向上	つながるねっと	<ul style="list-style-type: none"> つながるねっと環境で KX-VC1300/1600 Ver4.0 以降の内蔵 MCU への追加離脱ができるように改善 	○	○
	DTMF	<ul style="list-style-type: none"> H.323 接続においてもリモコン PC/サブカメラ共有開始時、共有解除時に DTMF[*10/*11]を送信し、KX-VC1300/1600 Ver4.0 以降の内蔵 MCU 接続時に自動レイアウト移行ができるように改善 	○	○
	H.323 能力	<ul style="list-style-type: none"> KX-VC300/600 のデュアルストリーム受信性能限界により、メインストリーム(カメラ映像)送信能力を 720p に制限 	○	○
	QoS	<ul style="list-style-type: none"> 広帯域(9Mbps)、ロス大(10%)時の画質性能改善 	○	○
機能変更	コーデック設定	<ul style="list-style-type: none"> バージョンアップ時のコーデック設定の初期値変更 SIP のコーデック設定は強制的に拡張設定とする H.323 のコーデック設定はバージョンアップ前設定を引き継ぐ 	○	○
	TCP/H.323	<ul style="list-style-type: none"> H.323 静的 NAT 時の接続性向上として以下の機能を追加 TCP Keep-Alive 対応 H.245 round trip delay 対応 	○	○
	V4.1 接続対応	<ul style="list-style-type: none"> KX-VC300/600 の 1080p 受信性能限界のため KX-VC1300/1600 との接続、他社機との接続、及び H.323 での接続では PC 共有時のレイアウトとして PinP を選択できないように制限 	○	○

■Ver3.12 リリース内容 (Ver3.10 からの変更内容)

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC300	VC600
機能の向上 / 改善	対応映像処理能力の改善	<ul style="list-style-type: none"> High-Profile 接続の H.264 レベルを 2.1 から 1.3 に拡張 H.264 受信能力パラメータが大きい場合に切断しない(上限値を超えた場合に上限と補正して対応) 	○	○
	セッション変更	<ul style="list-style-type: none"> SIP 接続時の不要なセッション変更が発生しないように対応(セッション変更時の GUI が目立つという指摘) 	○	○
	カメラ制御	<ul style="list-style-type: none"> 他社機異常カメラ制御パケットに対して操作できるように対応 	○	○
	映像ストリーム	<ul style="list-style-type: none"> Baseline-Profile 非インターリーブ時のスクリーンセーバ (砂嵐のような複雑な映像) を PC 入力として用いた際のストリーム異常を改善 	○	○
	H323 起動	<ul style="list-style-type: none"> 呼制御(H323)スタック起動時の異常系処理改善 	○	○
	WAN 側 IP 自動取得	<ul style="list-style-type: none"> WAN 側 IP 自動取得の機能改善 	○	○
	Ethernet	<ul style="list-style-type: none"> Ether-SW-IC ドライバ修正 	○	○

■Ver3.10 リリース内容 (Ver3.00 からの変更内容)

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC300	VC600
新機能	MPCS v2.0 対応	<ul style="list-style-type: none"> つながるねっとサービスモードでの MPCS(ver2.0) との接続ができるようになりました。 H.264 High-Profile での接続ができ、より低帯域での高画質な映像伝送を実現しました G.722.1 Annex C での接続ができ、従来より高音質を実現しました QoS を搭載し、低回線品質のネットワークでの適用もできるようになりました。 暗号通信に対応しました。 SIP トランスポートプロトコルとして TCP/UDP の両方に対応しました。 PC 共有・サブカメラ共有時、自動でプレゼンテーションモードに切り替えるように DTMF 信号("*", "1", "0")を、終了時プレゼンテーションモードを自動で終了するように DTMF 信号("*", "1", "1")を送信し、モードを自動で遷移するようになりました。 	○	○
	HD コムモバイル for Android ver2.0 対応	<ul style="list-style-type: none"> 調停帯域として 2M, 1.5Mbps, 384kbps, 256kbps も使用できるようになりました 映像の RTP パケット化方式として非インターリーブ 	○	○

		<p>モードでの通信に対応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 送信解像度として、720p、XGA、SVGA、w288pを新たに追加しました 		
機能の向上/改善	低帯域映像品質改善(HDコム同士の接続)	<ul style="list-style-type: none"> 「解像度優先」設定を、より高解像度を使用できるように改善しました。 「解像度優先」設定時の、「最大解像度」が「フルHD」「HD」の場合、帯域に関係なく、解像度を固定するように改善しました。 KX-VC300ではデフォルトで「解像度優先」を選択できるようになりました。 QoS機能(FEC/ARQ)の改善により、RTTが短いネットワークでの低帯域での映像品質を向上させました。 	○	○
	他社機接続時の映像品質改善	<ul style="list-style-type: none"> 他社機との接続時に使用する映像コーデックとして、以下を追加しました <ul style="list-style-type: none"> - H.264 High-Profile - H.264 Baseline-Profile (非インタリーブモード) 他社機との接続時に使用する音声コーデックとして以下を追加しました <ul style="list-style-type: none"> - G.711 A-law / μ-law - G.722.1 Annex C (24Kbps) 他社機との接続において「画質」の設定(動き優先・解像度優先)の設定を有効にし、利用環境に応じた設定が可能になりました。 	○	○
	DNS対応	<ul style="list-style-type: none"> SIPサーバーアドレス、ゲートキーパーアドレスにFQDNで指定できるようになりました。 SIPサーバー・ゲートキーパーを使用しない場合でも接続先にFQDNで指定できるようになりました。 	○	○
	音質改善	<ul style="list-style-type: none"> 定常的なノイズの抑圧量を従来の16dBから最大30dBにし、相手拠点のノイズを聞こえないレベルに改善しました。 ダブルトーク時の音の歪みを改善しました。 接続先を識別し、他社機との接続時の受話音量を上げることで、HDコム同士、他社機との接続、のいずれの場合においても違和感なく同レベルの音量で聞こえるようになりました。 エコーキャンセルを適用できるエコーの遅延範囲を従来の100msから500msに拡張しました。 	○	○
	言語選択	<ul style="list-style-type: none"> 全仕向け地モデルにおいて簡体字が選択できるようになりました。 	○	○
	通信帯域	<ul style="list-style-type: none"> 通信の最大帯域として256kbps、384kbpsを選択できるようになりました アドレス帳(単地点)に通信帯域を設定できるようになりました。 	○	○
	発信元選択	<ul style="list-style-type: none"> 発信元の設定項目として「優先する通信タイプ」を追加しました 暗号を設定するユーザが一般の場合、発信元の設定項目として「暗号鍵」も設定できるようになりました 	○	○
	GUI設定	<ul style="list-style-type: none"> GUIの設定として以下の各種設定ができるように 	○	○

	<p>し、用途に応じた設定がより細かくできるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「アドレス帳に登録」メニュー、「発信元を選択する」メニュー、「ネットワークの設定」メニュー「通信の設定」メニューの有効・無効の選択 - ホームのガイド表示のする・しない - アドレス帳の編集、発信元設定の編集 - カメラ制御中の画面表示の”一部表示”、”非表示”の選択 		
カメラ設定メニュー追加	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラとして VD130 を使用している場合、フリッカー補正を設定できるようになりました。 	○	○
発信操作	<ul style="list-style-type: none"> ● ホーム画面から”開始”ボタン押下で発信画面に遷移できるようにし、操作性を向上させました。 ● 履歴からの発信時に、発信画面にて編集して発信することができるようになりました。 	○	○
データのインポート・エクスポート	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来のログ一括保存を拡張して、アドレス帳、発信元データ、構成データも取得できるようになりました。 ● 取得データのファイル名にバージョン、IP アドレス、日時を追加し、データの管理をしやすい改善しました。 ● アドレス帳・構成データ、発信元データを USB を使って GUI から更新できるようになりました。 ● インポート用のデータを USB に 16 個格納しておき、選択できるようになりました。 	○	○
静的 NAT 使用時の WAN 側アドレス自動取得	<ul style="list-style-type: none"> ● 静的 NAT 使用時の WAN 側アドレスを公衆 STUN サーバに問い合わせることで自動取得できるモードを追加しました(デフォルト: OFF)。 ● 静的 NAT 使用時のトラブル軽減(特に他社機との接続での暗号使用時)を目的として利用ポートを拡張しました。 	○	○
SIP トランスポートプロトコル	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自動」を従来の、接続先による自動切り替えに加えて、TCP/UDP の自動切替え(P2P 接続時)を追加しました。 	○	○
つながるねっとサーバーポート	<ul style="list-style-type: none"> ● つながるねっとサービスの SIP サーバーポートとして従来の通常ポート(5060: デフォルト)と代替ポート(15060)を選択できるようになりました。 	○	○
H.460 メディア多重化	<ul style="list-style-type: none"> ● H.460 のメディア多重化に対応しました 	○	○
静的 NAT/ゲートキーパー運用	<ul style="list-style-type: none"> ● H.323 での接続形態として静的 NAT+ゲートキーパーでの運用に対応しました 	○	○
ゲートキーパーによる転送	<ul style="list-style-type: none"> ● ゲートキーパーの設定が有効と無効の端末が混在した環境での、ゲートキーパーによる転送に対応しました。 	○	○
発信方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 「IP アドレス/FQDN」%「H.323 名/H.323 内線番号」の形式での発信指定に対応しました。 	○	○
自音声出力	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画目的として自音声の出力設定を GUI でできるようになりました。 	○	○

■ Ver3.00 リリース内容 (Ver2.40 からの変更内容)

○ : 利用可能、□ : アクティベーションにより利用可能、△ : 制約あり、× : 利用不可 (非対応)

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC300	VC600
新機能	H.323 対応	<ul style="list-style-type: none"> 通信タイプとして従来の SIP に加えて、H.323 にも対応しました。 H.323 で自社機、他社機と 1 対 1 で接続できます。 H.323 での接続時は、映像コーデックは H.264 Baseline Profile、音声コーデックは G.722, G.722.1, G.722.1 Annex C のいずれかで接続します。 コンテンツ共有は映像入力切替方式になります。 AV-QoS 機能は動作しません。 ロス検出時の IDR 要求による映像ロス復旧を行います。 H.239 デュアルストリームの送信能力のある他社機との接続において、H.239 受信のみ対応します。 H.235 による暗号通信に対応します。ただし、他社機との接続性については他社機に依存します。 カメラ制御機能に対応します。ただし、他社機との接続時は動作保証外です。 DTMF 送信が可能です。 ゲートキーパーへの接続が可能です。検証済み機種は後述を参照ください。 	○	○
	NAT 越え機能に対応 (H.460)	<ul style="list-style-type: none"> H.323 で接続時、H.460 サーバを用いた NAT 越えに対応します。検証済み機種は後述を参照ください。 静的 NAT 設定との同時利用はできません。 	○	○
	NAT 越え機能に対応 (静的 NAT 設定)	<ul style="list-style-type: none"> SIP および H.323 での接続において標準モードで静的 NAT 設定を行うことによる NAT 越え機能を搭載します。 	○	○
	ワイヤレスルータ対応	<ul style="list-style-type: none"> 無線対応 AV-QoS を搭載し、Wi-Fi および WiMAX の環境でも安定した動作を実現します。 標準モード、つながるねっとサービスモードで適用できます。(但し、使用条件、制約があります。) 	○	○
	ワイド PC 入力対応	<ul style="list-style-type: none"> 従来の VGA、SXGA、XGA に加えて、新たに HD (1280x720)、WXGA (1280x800, 1280x768) の入力にも対応しました。 HD、WXGA は、通信相手に旧バージョン (Ver2.40 以下) の端末が含まれる場合、送信できません。 他社接続時は相手のデコードレベルに応じて、HD または w432(768x432)、w288(512x288)へリサイズして送信します。 	○	○
機能の向上/改善	カメラ連携改善	<ul style="list-style-type: none"> 廉価版 PTZ カメラ (GP-VD130)、廉価版固定カメラ (AW-VC2)に対応します。 カメラに対して各種設定項目 (明るさの調整、ホワイトバランス、フォーカスの調整、バックライト補 	○	○

		<p>正、デジタルズーム、トリミングズーム) の設定を HDVC からできるようになりました。設定できる項目は接続されるカメラ能力に依存しますので、各カメラの資料を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 従来のメインカメラのみならず、サブカメラの制御もできるようになりました。 ● パン方向を設定できるようになりました。 		
	外部制御 IF の改善	<ul style="list-style-type: none"> ● Ver3.00 での機能追加に伴い、外部制御 IF で使用できるコマンドを追加しました。 	○	○
	USB からのバージョンアップ	<ul style="list-style-type: none"> ● Ver3.00 の HDVC に対して、Ver3.00 より新しいバージョンにバージョンアップするときに、USB からのバージョンアップができるようになります。 	○	○
	言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本語・英語・米語・ドイツ語・フランス語・カナダフランス語・イタリア語・スペイン語・オランダ語・ポルトガル語・ロシア語が選択できるようになりました。 ● 初期設定で言語を選択します。(従来通りシステム設定の言語の選択でも選択可能です) ● NGN 選択時は日本語に自動で切り替わります。 	○	○
	つながるねっとサービスモードの静的 NAT 設定の改善	<ul style="list-style-type: none"> ● つながるねっとサービスモードでの静的 NAT 設定において、LAN 側のポートも設定できるようになりました。 	○	○
	音質の改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 音質の設定の「音声」の特性を、こもり感を改善するものに変更しました。 ● 接続相手先によらず、通話中、常に音質の選択ができるようにしました。 	○	○
	音量調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信相手先 (および通信タイプ) に応じて送信音量を自動で調整するように改善しました。 ● 通信相手先が HDVC (SIP 接続)、HDVC-MPCS、HDVC-Mobile の場合は従来と同等、HDVC (H.323 接続)、他社機・MCU の場合は、従来より-12dB (デフォルト) で送信するように変更し他社機との送信音量差を小さくしました。 	○	○
その他機能	ライセンス情報表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来 CD-ROM で配布していたライセンス情報、使用許諾契約を、CD-ROM の廃止に伴い、HDVC のシステム設定メニューから確認できるようになりました。 	○	○
	ネットワーク異常通知	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク異常を検出したことによる切断時に、履歴情報に「自動切断」と表示することで、その旨の原因をお客様が確認できるようになりました。(従来は正常として履歴に表示) 	○	○
	2画面伝送の送信機能 ON/OFF 設定機能	<ul style="list-style-type: none"> ● VC600 からの PC 共有において PC+メインカメラの送信を PC 共有のみにできる設定を追加しました。(VC300 同等の PC 共有になります。) 	○	○
	IP アドレスの異なるメディアに対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声と映像で IP アドレスの異なる他社機に対しても受信できるように対応しました。(H.323 のみ) 	○	○

■Ver2.40 リリース内容 (Ver2.30 からの変更内容)

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC300	VC600
新機能	NGN モードでの接続方式追加	<ul style="list-style-type: none"> OfficeGW なしで ONU に直結して HDVC を利用することが可能となりました (ONU 配下に収容可能な HDVC は最大 1 台)。これにより、従来の「ひかり電話オフィス」「ひかり電話オフィス A」に加え、「ひかり電話」契約を利用することが可能となりました (HomeGW は取り外してください)。 	○	○
	NGN モードでのひかり電話多地点接続サービス対応	<ul style="list-style-type: none"> NTT ビズリンク (株) 提供の「ひかり電話多地点接続サービス」に対応予定です。このサービスを利用することで、NGN モードで複数の拠点間を結ぶテレビ会議が可能となります。尚、「ひかり電話多地点接続サービス」の接続検証は完了しておりますが、検証内容及び結果に基づくプレスリリース内容については、2012 年 2 月現在、NTT ビズリンク (株) と交渉中です。 「ひかり電話多地点接続サービス」を利用する際には、HDVC を ONU に直結してお使い下さい (OfficeGW や HomeGW は取り外して下さい)。 	○	○
機能の向上/改善	他社機/MCU 接続機能	<ul style="list-style-type: none"> SONY 製機器 (PCS-XG80 / XA80 / XG55) 及び Polycom VRMX 2710HDR (MPMx) を検証済み機器として新たに追加しました。 会議室番号を指定した MCU 発信 (会議室番号 @IPv4 形式での発信) に対応しました。 音声コーデックとして、新たに G.722.1 及び G.722.1 AnnexC に対応することにより、他社機との相互接続性が向上しました (従来は G.722 のみ)。尚、音声コーデックは接続相手との調停により、自動的に選択されます。 通信中のコーデック変更 (帯域変更) 時に、機器情報表示画面の最大帯域を更新することで、最新の調停結果を表示するように改善しました。 以下の検証済み機器のソフトウェアバージョンアップに伴う接続不具合を解消しました： <ul style="list-style-type: none"> Polycom HDX7000 / 8000 Avaya Elite 5000 シリーズ 	○	○
	音設定「切」追加	<ul style="list-style-type: none"> 起動音・発信音・着信音の設定に「切」を新たに追加しました。 	○	○
その他機能	日付の初期値変更	<ul style="list-style-type: none"> リリース時期に合わせ、日付の初期値を「2012 年 1 月 1 日」に変更しました。 	○	○

■Ver2.30 リリース内容 (Ver2.22 からの変更内容)

○：利用可能、□：アクティベーションにより利用可能、△：制約あり、×：利用不可（非対応）

項目	機能	説明	機種別対応状況	
			VC300	VC600
新機能	HDMI-CEC による PTZ カメラ制御	<ul style="list-style-type: none"> HDVC 同士の通信中、自拠点及び相手拠点に接続された PTZ カメラのパン/チルト/ズーム/プリセット呼出しが可能です。 非通信時には、自拠点に接続された PTZ カメラのプリセット登録が可能です。 	○	○
	外部制御インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> GUI を表示しない「PC」モードで HDVC を運用時、タッチパネル PC や AMX 社製コントローラなどの外部制御端末から、ネットワーク経由で HDVC を制御する CGI インターフェースを公開しました。 外部制御インターフェースにより、外部制御端末から発着信やカメラ制御、各種データ（ログやアドレス帳など）の取得が可能となります。 	○	○
	片方向配信	<ul style="list-style-type: none"> 配信元となる端末の映像と音声を、ネットワークで接続された各端末間をバケツリレーで転送することにより、衛星通信や MCU 不要な映像中継ソリューション（最大 30 拠点への配信）を実現することができます。 配信システムとしては、配信元となる HDVC（配信端末）、配信端末からのデータを中継/受信する HDVC（中継/受信端末）の他に、配信の開始/終了などの管理を行う配信管理サーバが別途必要です。 本機能は KX-VC500 においては標準対応ですが、それ以外の機種については別途アクティベーションキーカード「片方向配信拡張」を購入して、本体に登録する必要があります。 海外向けアクティベーションキーの販売時期は 2011/10 時点で未定です。 	□	□
	USB ログ取得	<ul style="list-style-type: none"> 障害発生時など、GUI 管理者メニューから、USB メモリにログを取得することができます。 	○	○
基本機能の向上	DHCP/SIP サーバ対応	<ul style="list-style-type: none"> 「標準モード」で DHCP 及び SIP サーバに対応しました。 DHCP を使うことで、HDVC に対して自動的に IP アドレスを割り当てることができます（別途 DHCP サーバが必要です）。 SIP サーバを使うことで、今までの IP アドレスによる発着信に加え、SIP-URI（または SIP ユーザ名）による発信が可能となります（別途 SIP サーバが必要です）。 	○	○
	低帯域伝送	<ul style="list-style-type: none"> T1 回線でもフル HD での通信を可能とするために、1080p（最大 30 フレーム/秒）に対応しました。尚、1080p は、KX-VC400/ KX-VC500/KX-VC600 については標準対応ですが、KX-VC300 は別途アクティベーションキーカード（1080 フル HD 拡張）を購入して本体に登録する必要があります。 ソフトウェアバージョン Ver2.30 以前はレート制御可能な最低 IP ビットレートは 512kbps/地点でしたが、Ver2.30 では AV 通信に関しては 256kbps/地点、音声通信に関しては 192kbps/地点と、さらなる低 	□ (1080p はアクティベーション必要)	○

	<p>帯域伝送を実現しました（尚、512kbps 未満では AV 品質を保証するものではありません。また、GUI で設定可能な最大帯域の Minimum 値は、既存仕様通り 512kbps です）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 低ビットレート時の映像品質を確保するために、RTT が短く且つパケットロスのないネットワーク状況の際には、音声に対する冗長符号化を付与しないで映像を優先するモードを追加し、GUI システム設定にて設定可能になりました（優先制御：音声優先/映像優先）。 音声について AAC-LD 32kbps に対応し、低帯域時の 64kbps とのシームレスな切り替えを実現しました。 帯域が IP ビットレートで 256kbps/地点を下回った場合、音声のみの通信に遷移する機能を追加しました。尚、本機能は、GUI システム設定にて有効/無効（デフォルト）を選択可能です。 		
欧州映像方式	<ul style="list-style-type: none"> 50Hz と 60Hz の拠点が混在した場合、従来は HD のみでしたが、Ver2.30 ではフル HD（最大 30 フレーム/秒）での通信が可能となりました。 	<input type="checkbox"/> <small>(1080p はアクティブーション必要)</small>	○
他社/MCU 接続機能	<ul style="list-style-type: none"> 標準モードの SIP トランスポートプロトコルとして「TCP」に対応しました。GUI システム設定にて TCP/UDP/自動（デフォルト）を選択可能です。 PC 画面のリサイズに対応することにより、PC 共有時の各種制約がなくなりました（VC300/VC600 のみ） SEI 破棄対策により、Lifesize からの発信時に通話開始から 10 秒程度受信映像が乱れる制約がなくなりました： SVGA 時の解像度変更（800x608 で送信可能）により、下記制約がなくなりました： <ul style="list-style-type: none"> HDX8000 で SVGA 色ずれ RMX2000/Avaya で SVGA 画面下部の乱れ 接続可能な他社製テレビ会議システムおよび MCU の動作確認済機種や制限事項については、販売店にお問い合わせ下さい。 	○	○
PC・メインカメラ合成表示	<ul style="list-style-type: none"> PC 共有時、PC 映像と通信中の各拠点のメインカメラ映像との合成表示が可能となりました。 尚、本機能は Ver2.30 がインストールされた KX-VC600 から PC 共有を開始、且つ全ての拠点が Ver2.30 である場合にのみ有効です。 	<input type="checkbox"/> <small>(受信のみ可)</small>	○
発信元選択	<ul style="list-style-type: none"> 発信元選択から接続モードを切り替えることが可能となりました。 V2.22 では標準モード/つながるねっとサービスモードにそれぞれ 5 件ずつの発信元設定を有していましたが、Ver2.30 では全接続モード共通となり、合計 10 件の発信元を設定することが可能となります。 	○	○
メニュー構成	<ul style="list-style-type: none"> 従来は GUI 管理者メニューであった「スタンバイの設定」「言語の設定」を、GUI 一般メニューに移 	○	○

		<p>動させることで、一般ユーザでも設定可能となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 従来は混在していた設定系メニューと保守系メニューを分離・整理することで、操作性を向上させました。 		
	操作中の着信応答確認	<ul style="list-style-type: none"> 従来はアドレス帳編集のみ着信応答確認ポップアップを表示しておりましたが、ホーム画面及びスタンバイ中を除く全ての画面で着信応答確認ポップアップを表示するようにしました。これにより、操作や設定作業を優先させたい場合には、着信を拒否できるようになりました。 	○	○
	最大 IP レート設定	<ul style="list-style-type: none"> 最大 IP レートの設定を 0.5Mbps 刻みで設定できるようになりました。 	○	○
	RCA 音声入力	<ul style="list-style-type: none"> ローカットフィルタのカットオフ周波数を 150Hz から 80Hz に変更しました。 RCA 入力部のアンプゲインを 0dB から -32dB へ変更しました。 <p>専用マイク・RCA 入力 (DVD や CD) 併用の時にでも専用マイクの音がくっきり聞こえるようになります。</p> <p>上記アンプゲイン変更に伴い、RCA への入力レベルアップをお願いします。もし、入力レベルが上げられない場合、アンプゲインを 0dB に戻す方法がありますので、販売店へご相談ください。</p>	○	○
その他機能	セーフモードの変更	<ul style="list-style-type: none"> セーフモード時に通常の GUI が表示されるようになりました (従来は映像のみ)。 但し、セーフモード時には発着信や一部機能 (ネットワークの確認や自己診断など) が利用できません。 	○	○
	HDMI 設定の追加	<ul style="list-style-type: none"> 管理者メニューに「HDMI 設定」が追加されました。 尚、本設定は HDMI コンプライアンステスト用の画面であり、通常は使用しません。設定値を変更しないことを推奨致します。 	○	○
	音声入力設定の追加	<ul style="list-style-type: none"> 管理者メニューに音声入力設定を追加しました。 	○	○

3. 注意事項

取扱説明書は Ver.3.1 用のものをご使用ください。

4. 登録商標及びライセンス

4.1. 登録商標

Polycom® は、Polycom,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

SONY は、ソニー株式会社の登録商標です。

LifeSize は、Logicool の登録商標です。

Avaya は、Avaya Inc.の登録商標です。

4.2. ライセンス

本製品は、Polycom® によってライセンスされた G.722.1 と G.722.1 Annex C を使用しています。